

広島県商工労働局補助金等審査会 環境・エネルギー産業集積促進部会 議事要旨

広島県商工労働局補助金等審査会
環境・エネルギー産業集積促進部会

1 ヒアリング審査について

(1) 会議の概要

開催日時	令和7年5月29日(木)
開催場所	広島県庁本館 R4 会議室
開催方法	対面でのプレゼンテーション審査
出席委員	大学教授：3名、県職員：2名
議 題	令和7年度 広島県環境・エネルギー産業集積促進事業補助金
担当部署	商工労働局環境・エネルギー産業課 環境関連産業海外展開グループ

(2) 審査基準及び結果等

申請のあった9件を対象としてヒアリング審査を実施した。採択基準を満たし、委員の総合点の平均が高いものから順に、予算額の範囲内で補助採択候補事業として5件を選定した。

	評価項目					評価点		加点項目	合計	採択予定	
	採択基準(適・否)	申請者の新規性	社会的な意義	事業化の実現性	開発能力	計	平均				
配点	適・否	25	25	275	275	600	120	5	605		
申請者	A	適	25	19	177	174	395	79.0	0	395	○
	B	否(※)	25	14	142	131	312	62.4	5	317	
	C	適	25	15	192	201	433	86.6	5	438	○
	D	否(※)	5	11	152	172	340	68.0	5	345	
	E	否(※)	19	11	143	158	331	66.2	5	336	
	F	適	5	21	191	204	421	84.2	0	421	○
	G	否(※)	25	16	143	139	323	64.6	0	323	
	H	適	5	18	196	203	422	84.4	5	427	○
	I	適	25	16	180	189	410	82.0	0	410	○

(※) 審査要領において選外と定める下記基準に該当する。

- ・評価点の平均が満点の6割(72点)に満たない案件。

委員からは次のような意見があった。

申請者	意見
A	・ブレード単体の高性能化に特化した設計・製品化を進めることで、他社に対する優位性獲得が期待できる。 ・技術的な課題や関係者調整などハードルがあるが、事業化の可能性は大きく、期待できる。
B	・バイオ炭の効果等に関する科学的根拠に疑義があり、開発計画項目が具体的でない。 ・外注委託が主となっており、開発計画を遂行する技術力や体制に懸念がある。
C	・自社の有する技術に基づいた新規材料による基板の開発に関する補助であり、環境・産業への発展的な貢献が期待される。 ・新規性のある開発であり、今後の市場拡大が期待できる。
D	・商品改良とハラル認証が主で、未利用廃棄物の利用促進という観点が弱い。 ・昨年度申請からの進展が認められず、試作、現地調査、性能調査などについても十分な準備が整っていないと考えられる。
E	・市場規模が小さすぎる上に、ビジネスの成立が期待ができない。

	<ul style="list-style-type: none"> ・当該補助金の趣旨に合致するか懸念があるとともに、ビジネスモデルの成立について懸念がある。
F	<ul style="list-style-type: none"> ・廃リチウムイオン電池の有効活用に向けた市場拡大が期待できる。 ・昨年度事業の課題を踏まえて実用化を目指して課題解決に取り組んでおり、評価できる。
G	<ul style="list-style-type: none"> ・組織的に十分な技術や研究力がなく、連携研究体制が構築されていない。 ・同業他社との競合、自社の特長、特性に乏しい。
H	<ul style="list-style-type: none"> ・進出が難しいとされているベトナム政府関係事業に対してアプローチができていることに期待したい。 ・具体的な成果も出始めてきており、海外進出のモデルケースとして期待できる。
I	<ul style="list-style-type: none"> ・豚の消化管の健全化に貢献する飼料添加剤を開発しようとしており、研究という観点からは一定の成果が期待できる。 ・既存の抗生剤と同等程度に低廉化し、かつ、効果が実証されれば、実用化の可能性はあると思われる。